

県 受 付

農委受付

1 申請者の等 住 所 等	住 所						職 業								
	〇〇 都道府県	〇〇 郡市	〇〇 町村	12345 番地			農業								
2 許可を受けようとする土地の所在等	土地の所在	地番	地 目 登記簿 現 況	面 積	利用状況	10a当たり 普通収穫高	耕作者氏名	市街化区域・市街化調整 区域・その他の区域の別							
	〇〇市〇〇町大字〇〇字〇〇	777	田 田	300 m ²	水田	480kg	鳥取 鬼太郎	都市計画区域外							
	計	300 m ² (田	300 m ² 畑	m ²	採草放牧地	m ²)									
3 転 用 計 画	(1) 転用事由の 詳 細	用 途	事由の詳細 大型機械整備のため												
		農機具収納施設用地													
	(2) 事業の操業 期間又は施設の利用期 間	平成 〇〇 年 〇〇 月 〇〇 日から 永久													
	(3) 転用の時期 及び転用の 目的に係る 事業または 施設の概要	工事計画	第1期(着工〇〇年〇〇月～××年××月)				第2期(年 月～ 年 月)				合 計				
			名 称	むね数	建築面積	所要面積	備 考	むね数	建築面積	所要面積	備 考	むね数	建築面積	所要面積	備 考
		土地造成				300 m ²				m ²				300 m ²	
		建 築 物	農機具収納 施設	1	100 m ²				m ²			1	100 m ²		
		小 計			100	300									
		工 作 物													
		小 計													
合 計		1	100	300						1	100	300			

4 資金調達についての計画	土地造成費		300 m ²	m ² 当り	10,000 円	3,000,000 円	自己資金	5,000,000 円 (別途証明書のとおりに)
	建 築 費		100 m ²	m ² 当り	50,000 円	5,000,000 円	この調達方法 借 入 金	3,000,000 円
	その他費用		m ²	m ² 当り	円	円	そ の 他	円
	合 計		8,000,000 円					
5 転用することによって生ずる付近の土地・作物・家畜等の被害防除施設の概要			被 害 防 除 施 設 の 概 要					
	隣接農地への障害		造成に際しては擁壁を設けることにより隣地及び用排水路への土砂の流出を防ぐ。					
	下水による障害	雨水	側に排水路があり、U字溝によりそちらへ流すようにするとともに、溜耕により土砂の流出を防ぐので、周辺農地、排水施設への被害は発生しない。					
		汚水	公共下水道に流すため被害は発生しない。					
	通作・かんがい水への影響		隣接農地への通路は確保されており通作に支障はない。					
その他		隣接農地から建築物までの距離を十分に確保しており日照に影響はない。						
6 その他参考となるべき事項	土地改良事業の施行地域内の有無		添付書類					
	接続している道路の有無		① 法人にあっては定款又は寄附行為及び法人の登記事項証明書					
	幅 員 4 m (私道、 <u>農道</u> 、公道)		② 申請に係る土地の登記事項証明書（全部事項証明書に限る。）					
	上水道、下水道、ガス施設の有無		③ 申請地の位置及び付近の土地利用状況を表示する図面					
			④ 申請土地の地番地目を表示する図面 1/500					
			⑤ 申請地内に建築する建築物、施設の配置図					
			⑥ 資金調達裏付証明書					
			⑦ 土地改良区意見書					
			⑧ 事業計画書					
			⑨ その他の法律により許認可等を得る必要がある場合は関係法律による申請状況					
			⑩ 所有権以外の権原に基づいて申請する場合は、所有者の同意を証する書面					

記載注意

- (1) 氏名（法人にあってはその代表者の氏名）を自署する場合には、押印を省略することができます。
- (2) 関係者が法人である場合には、「氏名」欄にその名称及び代表者の氏名を、「住所」欄にその主たる事務所の所在地を、「職業」欄にその業務の内容を、それぞれ記載してください。
- (3) 「利用状況」欄には、田にあっては二毛作又は一毛作の別、畑にあっては普通畑、果樹園、桑園、茶園、牧草畑又はその他の別を記載してください。
- (4) 「市街化区域・市街化調整区域・その他の区域の別」欄には、申請に係る土地が都市計画法による市街化区域、市街化調整区域又はこれら以外の区域のいずれに含まれているかを記載してください。
- (5) 「転用の時期及び転用の目的に係る事業又は施設の概要」欄には、工事計画が長期にわたるものである場合には、できる限り工事計画を6か月単位で区分して記載してください。
- (6) 申請に係る土地が市街化調整区域内にある場合には、転用行為が都市計画法第29条の開発許可及び同法第43条第1項の建築許可を要しないものであるときはその旨並びに同法第29条及び第43条第1項の該当する号を、転用行為が当該開発許可を要するものであるときはその旨及び同法第34条の該当する号を、転用行為が当該建築許可を要するものであるときは、その旨及び建築物が同法第34条第1号から第10号まで又は都市計画法施行令第36条第1項第3号ロからホまでのいずれの建築物に該当するかを、転用行為が開発行為及び建築行為のいずれも伴わないものであるときは、その旨及びその理由を、それぞれ「その他参考となるべき事項」欄に記載してください。